

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院
第 20 回地域連絡協議会議事録

【日 時】 2024 年 11 月 15 日（金） 14 時～15 時

【場 所】 大会議室（中央棟 6 階）

【議 題】 I 地域医療連携に関するデータ報告 加藤室長

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移 資料 1

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等） 資料 2

II 「中京病院における手外科・肘関節外科領域の
最近の取り組みについて」

整形外科医長 浅野 研一

III 討論

IV 閉会

【出席者】（以下、敬称略、五十音順 職名は別紙参照）

青木一郎、ウィンターロード俊江、喜多村隆、近藤広見、真田昌代、鈴木理、
永井敏美、西本和生、根崎涼介、村上京子、森下千恵美、矢田篤司、渡邊一弘

【欠席者】

大島伸一、尾之内博規、加藤雅通、柴田真一、成田英里、日比野正範

【当院出席者】

後藤百万、加田賢治、大野稔人、真弓俊彦、河嶋知子、木下敦士

【当院欠席者】

林英司、伊藤和幸

【開会挨拶】

（後藤副委員長）

10 月末まで異例の暑さが続いていましたが、11 月に入って急に寒くなってまいりました。本日は、大変お忙しい中、第 73 回中京病院地域医療支援委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。ありがとうございました。

新型コロナウイルスの 5 類への移行後 1 年半が経過し、社会はポストコロナという感覚になっていますが、それでも今年は第 10 波、第 11 波の感染拡大があり、現在もコロナ感染患者の発生は続いています。中京病院でも常時数名から 10 名程度のコロナ感染患者さんが入院していますが、重症化することはまれで、いい方は悪いですが、あまり気にならなくなりました。しかし、今年はコロナ以外にも、インフルエンザ、手足口病、マイコプラズマ肺炎などのイレギュラーな感染拡大が起こっています。今年度からの第 8 次医療計画では、従来 of 5 疾病 5 事業に新興感染症対策が 6 事業として加えられましたが、まさに今後の医療における感染症対策の重要性を実感しています。当院は、今年度、新興感染症に対する指定病院として愛知県と医療措置協定を締結しましたが、今後とも万全の対応を行ってまいります。

今年度の診療報酬改定については、実施後 6 か月弱が経過しようとしていますが、給与ベースアップに対する点数増のみで、物価高騰による固定費増や薬剤費・診療材料費などの費用増に対する手当はなく、また給与ベースアップ評価料といっても実際には持ち出し分が多いことから、全国の病院から悲鳴が上がっているという状況と認識しています。当院は高度急性期・急性期病院ですが、当院に求められる医療を実践するためには当然多額の費用が必要であり、病院経営は大変厳しい状況です。しかし、高度急性期・急性期医療を実践し、地域医療を守ることは、当院が絶対に果たさ

なければならぬ役割ですので、地域の医療機関の皆様と密接に連携し、ご支援、ご協力を得て、何としても行っていく所存ですので、よろしくお願いいたします。

さて、2025年に向けた地域医療構想は終わりに近づき、2040年に向けた地域医療構想を見据えた医療政策の議論が始まっており、来年3月までには大枠が決められると聞いています。総人口の減少、生産年齢人口の減少と高齢者人口の増加のなかで医療需要が減少し、医療従事者の確保が難しくなり、病院の機能分担と集約化がさらに加速化されます。実際、全国の病院では、外来患者数は2020～25年にかけて、入院患者でも2030～35年にピークアウトすると予測されています。2024年の診療報酬改定においても7対1急性期病床の削減が加速化され、2040年に向けた国のマスタープランでは広域高度急性期・急性期病院（7対1急性期病床）、地域密着型急性期病院（10対1以下の急性期病床）、回復期病院、慢性期病院の機能が明確に分けられることになり、さらに広域急性期病院については集約化が進むと予測されます。一部では、10対1病床は廃止されるとの情報もあります。中京病院は重症熱傷治療、小児先天性心疾患に対する手術治療・カテーテル治療、がん拠点病院・がんゲノム連携病院としての先進的がん診療、放射線治療、脳卒中に対する血栓回収治療、不整脈に対するカテーテル治療、腎移植、専門性の高い眼科診療など、日本や愛知県で有数の高度な専門診療能力を有し、2025年に開院する新棟において、さらに救命救急センターの充実、成人先天性心疾患を中心とした心カテーテル治療センターの創設など、高度急性期・急性期病院としてハイレベルな医療を提供することから、広域高度急性期・急性期病院として名古屋市南部・知多半島北部以外の広域からの患者にも対応しなければならないと思っています。しかし、前述の人口動態の変化、国の目指す医療政策を勘案しながら、中京病院の機能、連携施設との協力を柔軟に変化させていくような中長期計画を常に考えていくことが重要と思っています。

最後に、現在建設中の当院東新棟がいよいよ来年12月にオープンいたします。新放射線治療棟は既に令和5年から稼働し、最新の放射線治療を行っています。東新棟にはがん診療、手術、救命救急医療を強化し、災害時に備えるための設備を充実させます。完成に向けてハード・ソフト両面を進化させ、連携施設と協力し、高度急性期・急性期病院としてさらなる地域貢献を目指しますので、引き続きのご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

（ウィンターロード委員長）

様々な感染症が増えており、さらに季節の変わり目で喘息などの急性増悪期などの患者も増えた。外来で診療してはいるが、なかなか治まらない症例は救急患者ということで、急に中京病院にお願いすることもあると思います。その上は引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

（永井理事）

今年7月から名古屋市医師会の理事となり、病診連携を担当することになった。平時は港区の方で開業しており、中京病院にも、皆様方にも患者さんを紹介したり、逆に紹介してもらい引き継ぎをさせてもらったりでお世話になっております。今回初めて会議に出席するが、後藤副委員長から話があった工事をしながらの救急医療とか日常診療をこなしていくのはかなり気を使うのではないかと思います。中京病院のスタッフの皆様にはご苦労もあるかと思いますが、これからもお互いに協力し合って頑張っていきたいと思っています。

I 地域医療連携に関するデータ報告（加藤室長）

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者の推移（資料 1）

地域医療支援病院報告事項一覧（資料 1-1）

◆ 外来・入院等実績

外来患者延数は 65,525 人、入院患者延数は 40,968 人、稼働病床利用率は 79.4%、平均在院日数は 11.3 日、在宅復帰率は 97.6%となっている。

◆ 紹介・逆紹介実績

初診患者は 4,444 人、紹介患者数 3,033 人（紹介率 68.2%）。逆紹介患者数は 4,264 人（逆紹介率 95.9%）となっている。

◆ 救急実績

救急患者総数は 4,051 人、入院しなかった数は、2,916 人でその割合は 72.0%。

入院した患者は、1,135 人、28.0%は入院となっている。

救急搬送の患者は、1,714 人。救急車以外のウォーク in とされる患者は 2,337 人、小児救急患者の数は 520 人。

◆ 紹介率・逆紹介率・初診患者（資料 1-2）

初診数 7月 1,639 件、8月 1,443 件、9月 1,362 件

紹介率 7月 68.5%、8月 66.4%、9月 70.0%。

逆紹介率 7月 94.9%、8月 95.0%、9月 98.2%

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等）（資料 2）

◆ FAX・Web2023 年度（1～3 月実績）（資料 2-1）

FAX・Web の予約状況では、眼科、消化器科、泌尿器科、脳神経外科が多い。

検査においては、従来どおり CT・MR が多く次いで上部内視鏡検査が多い。

◆ 開放型病床利用（資料 2-2）

第二四半期では 8 月に木場内科クリニックからの内分沁糖尿病内科の利用があった。

《 質疑応答 》

特になし

Ⅱ 「中京病院における手外科・肘関節外科領域の最近の取り組みについて」

整形外科医長 浅野 研一

《要旨 - スライドより抜粋》

- ・ 低侵襲髄内スクリュー挿入の症例紹介
- ・ HAND 20 上肢の機能障害の評価にかかる指数
- ・ 手指PIP関節変形性関節症、人口指関節置換術の症例紹介
- ・ 切断指に対する再接着術、皮弁手術の症例紹介
- ・ 顕微鏡下マイクロサージャリーの症例紹介
- ・ 外傷性神経損傷（医療機関での採血時）の症例紹介
- ・ 手関節脱臼骨折に対する創外固定、内固定の症例紹介
- ・ 関節鏡下手術の症例紹介
- ・ 上腕二頭筋腱断裂の症例紹介
- ・ 肘関節脱臼、粉碎骨折の症例紹介
- ・ 救急外傷、指切断の受入体制の紹介

《質疑応答》

（永井委員）

プレゼンの中の採血後の神経の損傷の手術症例について5ヶ月ぐらい経っていたとのことだが、なんとなくイメージとして、対応は早いに越したことはないと思われるが、長期間空いてしまった場合でも手術等、対応できるのか？

（浅野整形外科医長）

末梢神経は再生する臓器であり時間経過で回復する症例が大部分だが、経過を見ても痛みが続いてしまうという症例も少数であるが存在する。そういった症例に関しては、プレゼンで紹介した人工神経等の技術がかなり進んでおり、それで治療を行うとかなり痛みは改善する。

採血後の神経の損傷のようは症例については、医療安全関連や患者の訴訟等に繋がることで、扱いに困ることもあると思います。そういう障害については紹介してもらえれば対応する。

（村上委員）

ハンドサージャリー専門の医師は増えてきたかと思う。近辺では名古屋掖済会病院、東海病院といったところがハンドサージャリーの症例が多いと思いますが、地域的に中京病院にはどの範囲から患者が来るのか？

（浅野整形外科医長）

遠いところだと南の方、知多市や東海市から来ることもあるが、中京病院の位置だと南区、熱田区、港区から来ることが多い。

（後藤副委員長）

人工神経というのは、神経の再生のためのスカフォールドみたいなものなのか、それとも神経の代わりをするものか。

（浅野整形外科医長）

現在の人工神経は再生のためのスカフォールドという位置づけ。末梢神経の再生を助けるという役割になる。

(後藤副委員長)

人工神経には薬剤等が含まれている等、神経再生を助ける仕組みがあるのか？

(浅野整形外科医長)

そういったところは現在、研究が行われている最中で、薬剤を入れたり、大学では細胞を入れたりする研究が進んでいる。今の人工神経に関しては人工の化学繊維が構造を治しているだけになるが、治療成績は神経移植術と同等になってきている。

(後藤副委員長)

現在、前立腺癌はロボットで手術をすることがほとんどである。ロボット手術になってからも、勃起神経を残す技術は進んだが、それでも神経を切ってしまった時の神経の再生について関心があり質問をさせてもらった。

(ウィンターロード委員長)

指の切断症例について、切断された部位はどのような状態で運ぶのがよいのか？

(浅野整形外科医長)

切断された指をそのまま再接着するという手術もあるが、残っている組織を使った皮弁手術の技術も進んできている。

切断された指の組織は冷えた状態の方が温存しやすい。生食ガーゼ等でくるんで袋に入れ、直接氷水とかにはつけないようにして運んでもらえると組織が生きている状態が長く続き手術の成功する確率も上がると思われる。そういった対応をしてもらえると大変ありがたい。

(ウィンターロード委員長)

手術に使われるプレートの素材は何ですか？

(浅野整形外科医長)

チタン合金である。基本的に整形外科で使用する金属はチタン合金なのでMR Iの撮影も可能。

III 討論

特になし

IV 閉会

次回 地域連絡協議会開催予定

・年2回の開催となっており、次回(第21回)は令和7年5月に開催予定

第20回独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院地域連絡協議会
2024年11月15日（金）

院外委員

NO	委員(カタカナ) (五十音順・敬称略)	職名	新任	備考	出欠
1	青木 一郎 (アキ イチロウ)	南区歯科医師会長		医療関係団体	出席
2	ウインターロード俊江 (ウインタールード トシエ)	南区医師会長		医療関係団体	出席
3	大島 伸一 (オオシマ シンイチ)	国立長寿医療研究センター名誉総長		学識経験者	欠席
4	尾之内 博規 (オノノ ヒロノリ)	知多郡医師会長		医療関係団体	欠席
5	加藤 雅通 (カト マサトシ)	愛知県医師会理事		医療関係団体	欠席
6	喜多村 隆 (キタムラ タカ)	明治学区連絡協議会名誉会長		市民代表	出席
7	近藤 広見 (コトウ ヒロミ)	名古屋市南区訪問看護 ステーション所長		医療関係団体	出席
8	真田 昌代 (マタ ナリ)	善常会リハビリテーション病院 事務部長		医療関係団体	出席
9	柴田 真一 (シバ マコト)	緑区医師会長		医療関係団体	欠席
10	鈴木 理 (スズキ リ)	天白区医師会長		医療関係団体	出席
11	永井 敏美 (ナガイ トモミ)	名古屋市医師会担当理事		医療関係団体	出席
12	成田 英里 (ナリ エリ)	名古屋市南区南部いきいき支援センター センター長		医療関係団体	欠席
13	西本 和生 (ニホン カズオ)	熱田区医師会副会長		医療関係団体	出席
14	根崎 涼介 (ネザキ リョウスケ)	医) 山口病院 地域医療連携室室長		医療関係団体	出席
15	日比野 正範 (ヒビノ マサノリ)	南区薬剤師会長		医療関係団体	欠席
16	村上 京子 (ムラカミ キョウコ)	瑞穂区医師会長		医療関係団体	出席
17	森下 千恵美 (モリノ チカミ)	名古屋市南区保健福祉センター福祉部長		医療行政代表	出席
18	矢田 篤司 (ヤタ アツシ)	港区医師会副会長		医療関係団体	出席
19	渡邊 一弘 (ワタナベ カズヒロ)	名古屋市南消防署長		医療行政代表	出席

出席： 13名

院内委員

NO	委員(カタカナ)	職名	新任	備考	出欠
1	後藤 百万 (ゴトウ マネカズ)	病院長		病院代表	出席
2	加田 賢治 (カダ ケンヂ)	副院長		〃	出席
3	大野 稔人 (オノ ノリヒト)	副院長		〃	出席
4	林 英司 (ハヤシ エイジ)	副院長		〃	欠席
5	真弓 俊彦 (マユミ トシヒコ)	副院長		〃	出席
6	河嶋 知子 (カワシマ トモコ)	副院長兼看護部長		〃	出席
7	伊藤 和幸 (イトウ ワカユキ)	薬剤部長		〃	欠席
8	木下 敦士 (キノダ アツシ)	事務部長		〃	出席

出席： 6名